

広 報 資 料
(教 育 同 時)

令和5年12月13日
京都市文化市民局
(歴史資料館 075-241-4312)

京都市歴史資料館

冬期連続講座「古文書で読み解く京都の歴史」の開催について ～古文書には、それぞれの時代の〈^{いま}現在〉が詰まっている～

この度、京都市歴史資料館では、多くの市民の皆様にご覧いただきながら古文書を楽しみながら学んでいただくため、下記のとおり冬期連続講座「古文書で読み解く京都の歴史」を開催しますので、お知らせします。

記

- 1 内 容 初級レベルの「くずし字」を読むことが可能であり、更に様々な古文書を解読して、京都の歴史に対する理解を深めたい方にお勧めの講座です。2つの組があり、講座内容に違いがあります。
※ I組とII組の両方を申し込むことはできません。

I組：「神社・社家の古文書を読む」

上賀茂神社・下鴨神社並びに神職の家柄である社家に伝わる古文書を中心に、中世～近世にかけての信仰や生活を見ていきます。

II組：「檜原宿の古文書を読む」

江戸時代に山陰街道の檜原は宿場町として賑わっていました。では、どのような人びとが檜原宿を利用し、宿場町ではどのような対応を行っていたのでしょうか。地域に伝えられた古文書から、檜原宿の機能と役割を探ります。

- 2 開催期間 I組・II組とも、
令和6年2月6日、13日、20日、27日
全て火曜日 [全4回]

- 3 開催時間 I組：午後1時30分～3時
II組：午後3時30分～5時
(受付は、どちらも開始20分前から行います。)

- 4 会 場 職員会館かもがわ
(〒604-0901 京都市中京区土手町通夷川上る末丸町 284)

- 5 主 催 京都市歴史資料館
- 6 講 師 I組：元京都市歴史資料館 歴史調査担当係長 宇野 日出生
II組：京都市歴史資料館 歴史調査員 松中 博
- 7 定 員 I組・II組とも45名（申込者多数の場合は、抽選を行います。）
- 8 受講料 4,000円（テキスト代を含みます。）
初回受講時に一括徴収します。返金はいたしません。
- 9 申込方法 1月5日（金）から1月17日（水）までに、電話、FAX、
電子メールのいずれかの方法で、京都いつでもコール（京都市
市政情報総合案内コールセンター）へ申し込みください。
申込みの際には、「講座名、希望組、郵便番号、住所、氏名（ふ
りがな）、電話番号」を伝えてください。後日、受講者のみ連
絡ハガキを送付します。

[京都いつでもコール]

電話番号 075-661-3755（みなここ）

FAX番号 075-661-5855（ごようはここ）

電子メール <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

（ホームページの送信フォームを御利用ください。）

※お電話の際は、お掛け間違いに御注意ください。

- 10 問合せ先 京都市歴史資料館 電話（075）241-4312
FAX（075）241-4012